

令和6年度 豊明市指定管理者審査委員会 議事録要旨

日時 令和7年9月30日（火）  
午前 午前10時00分～  
場所 豊明市共生交流プラザ

※敬称略

出席委員：鈴木、石井、川島、萩野、松村、山田

事務局：共生社会課長、共生社会課長補佐、協働推進担当係長

指定管理者：株式会社トヨタエンタプライズ（以下「指定管理者」という。）

事務局より

当会議は非公開会議とする。企業ノウハウ等が含まれる資料も部外秘のため、ご配慮いただきたい。

委員6名のうち出席6名で全員出席により会議は成立。

1. 委員長あいさつ

2. 議題

（1）令和6年度指定管理実績報告について

令和6年度豊明市共生交流プラザ事業報告書に基づき指定管理者より報告。

質疑・意見等

（委員）

音楽体験教室とあるが、楽器の制限などはあるか。

（指定管理者）

「ハジメテノオト」という事業で事前に楽器を指定して、広く参加者を募集しており、継続して開催している。最近では参加者の口コミ等で周知されてきており参加者が増えてきています。また参加した方で経験者が年齢に関係なく未経験者に教えて交流が生まれてきています。

（委員）

日常の維持管理や簡易的な修繕は内製スタッフがやっているのとあるが、例えば何を行っているのか。

（指定管理者）

管理で言えば日常検針などを行い、異常確認に努めています。簡易的な修繕以外に令和6年度から開始したカラットストア（売店）についても、売店の棚や飾りは全てスタッフの手作りによって作成、更新をしています。

（委員）

貸館利用が増えることで、調査概要にあるアンケート件数は増加していると思うが、こういった事例が挙がっているか。

（指定管理者）

HP やご意見箱では施設利用方法や館内の場所についての問い合わせが多かったため、利用方法を含めご案内をしています。特に子ども遊び場は利用

者が多く、問い合わせも多かったため館内の各所に案内看板を設置して場所も含め分かりやすくする対応を行いました。また外国籍の方にも人気であるため、多言語ルールブックを作成・設置し、外国籍の方に向けた周知も行っています。

(2) 令和6年度モニタリングレポート（年次評価）について

共生交流プラザの運営等に係る令和6年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について事務局より説明。

また、指定管理者の経営に関する事項については事前に石井委員に分析を依頼し、分析結果の報告を次のとおり受けた。

「原価やエネルギー高騰が続く中、同様の水準を維持し、当期純利益についても増収、増益の結果となっている。全体を見て、財政状況に格段の不安はないものといえる」

以上のことから、審査委員会としてのコメントは、次のとおりとした。

「各地で小中学校の統廃合が進む中、廃校を地域でうまく活用している成功事例としてのイメージが広がっている。特に毎年利用者及び利用率が増えていることは、利用者の声を細かに聞き、柔軟に対応している結果と考えられる。利用者の増加による収入増加分を利便性向上や体制強化に充てており更なる満足度向上を行うことで、市民に愛される施設となっている。また利用者が増えれば怪我や事故といったリスクも増えてくるところであるが、職員が想定し対策を行えていることで重大な事故も起きることなく運営できている。現状に満足することなく、今後も利用者の声を聞き、利用者に喜ばれる施設運営をしていただきたい。」

(3) 令和7年度指定管理者事業計画について

令和7年度事業計画に基づき指定管理者より説明。

質疑・意見等

(委員)

令和6年度実績に基づいて見れば、十分可能な計画だと思われる。

3. その他

事務局より、議事録とモニタリングレポートについてホームページに掲載する旨説明。